

第23回BATJ年次大会

ポスター発表

2021年9月12日(日)

小噺に挑戦!

～継承語教育:子どもたちのこばなしはっぴょうかい～

加村 彩(おひさまあはは)

実施機関:おひさまあはは

日本語コミュニティグループ

<https://ohisamasite.wordpress.com>



小噺に取り組んだ学習者:

小学生クラス(12名)

GCSEクラス中学生(5名)

(日本語のレベル:初級～中級)



教育目標:

- 日本語を使って演じること
- 家族や友達に披露すること
- 全身を使った学び、笑いを通して楽しむ
- 日本文化に親しむこと

発表までの指導期間:

2021年3月、3回のオンライン授業に組み込んだ

小噺集
リンク



発表までの指導プロセス:

1回目:

[お手本ビデオ①「写真」](#)を全員で視聴

宿題:小噺集の中から好きな演目を選び、覚えること

2回目:

ブレイクアウトを使って練習。
(1人で3分 → ペアで3分 → 全員の前で1人ずつ発表)
その後、小噺について説明 [ビデオ「小噺に挑戦」](#)

3回目:

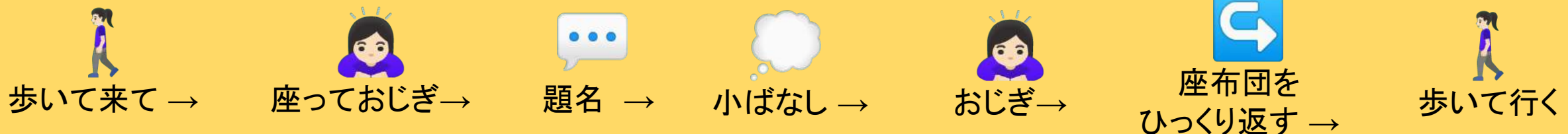
希望者のみ、練習の成果を全員に披露(10分)
[お手本ビデオ②「手術」](#)

各自が撮影したビデオを教師が編集し、発表会に臨んだ

撮影時の注意

- 和服を着る
- 手ぬぐいとせんす、座布団を使う
なければ代用品
- スマートフォンで撮影する場合、
横にする

本番の流れ

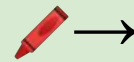


生徒主導でのイベント準備・運営(GCSE中学生クラス)

小唄の翻訳
(日本語→英語)



ポスター作成



スライド作成



司会
(日本語&英語)

生徒が主体的に参画したことで
自信がついた

意欲的になった

発言、挙手が増えた

クラスの雰囲気良くなった

授業で取り入れたいことの
活発な提案

学び合い
日本語だけでない学び

生徒を信じる
任せる

おもしろい
たのしい
笑い

つながり
コミュニティ

アクティブラーニング

ズームこばなしはっぴょうかい

2021年4月



発表会ビデオ①
「おかあさん」



発表会ビデオ②
「写真」

ビデオ編集(iMovie 使用)

めくり + 小唄ビデオ
♪ 出囃子 ♪ 出囃子

めくり↓

写真

しゃしん

れいこ

ライブ出演/ビデオ出演
選択制

事前にビデオ出演を希望していた子ども9歳が、当日にライブ出演をすると言ってやり遂げた!



学び・ふりかえり

年少者(小学生)の声

ちょこちょこと頻繁に練習をしたら、意外と覚えられた。

浴衣を着たり、日本の文化を体験できてよかった。

とても楽しかった。日本の家族や友達とオンラインでつながれたことがとてもうれしかった。

たのしかった。おねえさん(中学生)がかわいかった。

緊張したけど楽しかった。

日本の家族が聞いてくれてうれしかった。



プロジェクトを通しての学び 教師のふりかえり

- 達成感があった。成功体験ができた。
- 優劣を決めない活動。失敗も笑いに変えられた。
- 継承語教育に最適な活動と思われた。
- 生徒、家族、教師、みんなで学び合う事ができた。
- 年長者が年少者のロールモデルとなった。

印象に残った保護者の声

「小唄のスク립トをいくつも暗記していたようで、今でも一人で小唄をすることがあります。」

「ひとつひとつのお話のどこが面白いのかを私と話し合うのも楽しんでいました。お話を覚えるだけでなくお辞儀や座布団など決まり事があり、そういうのは苦手なのかと思っていたらきっちり覚えて得意げに披露していたので、我が子の知らない一面を垣間見た感じで面白かったです。日本の祖父母や叔父から大いに褒められてかなり自信がついたようです。」

GCSEクラスの感想文より

- 「去年は日本へ行けませんでしたからみんなを見れてとてもうれしかったです。」
- 「一番好きなことは、ゆかたをきたことです。」
- 「全部自分たちでやりましたから大変でしたけど大成功でしたから良かったです」
- 「楽しんだ。なぜならみんないっしょにさんかをできたからです。」
- 「みんなの小ばなしはおもしろくて、よいえんぎをできていました。」

- 教師が前に出すぎない事。
- 他者からの学びを生かすこと。
- 任せる・お願いする・1人で抱え込まない。
- 人前での発表の機会を設けることの大切さ。
- 笑いのパワー。ひろがる小唄の輪。